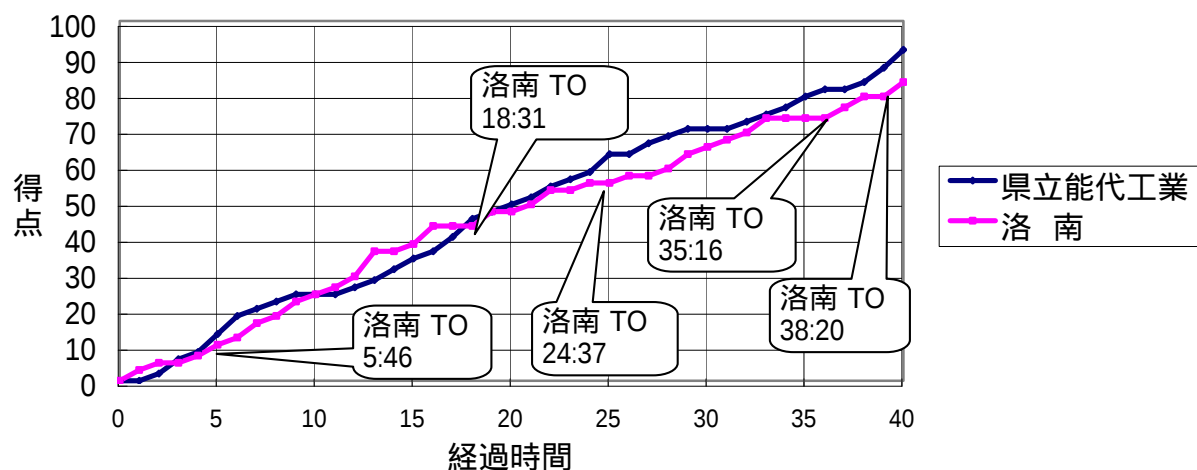


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	M3	13:20	男子準々決勝
期日会場	2007年（平成19年）8月1日（水） 唐津市文化体育館	県立能代工業 秋田 ○	92 24 - 24 25 - 23 21 - 18 22 - 18 -	83 洛 南 ● 京都

主審 佐藤 誠

副審 加藤 昌樹



県立能代工業

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	渡部 敬祐	14	3	1	3	0
○ 5	満原 優樹	27	0	13	1	4
○ 6	高橋 健太郎	22	0	10	2	2
○ 7	長谷川 技	15	1	6	0	2
○ 8	高橋 陽	11	3	0	2	3
9	宮川 光	0	0	0	0	0
10	館山 健太	3	1	0	0	2
11	石川 朝	0	0	0	0	0
12	荒生 純平	0	0	0	0	0
13	伊藤 伸高	0	0	0	0	0
14	小川 昌志	0	0	0	0	0
15	武藤 修平	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	加藤 三彦					
	合計	92	8	30	8	

洛 南

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	田村 晋	15	0	6	3	2
○ 5	辻 直人	18	5	1	1	3
6	加藤 貴大	0	0	0	0	0
7	谷口 達朗	0	0	0	0	0
8	柳田 将人	0	0	0	0	0
9	神津 悠平	0	0	0	0	0
○ 10	谷口 大智	20	0	9	2	2
11	松岡 大騎	0	0	0	0	1
○ 12	比江島 慎	25	1	11	0	2
○ 13	佐藤 将人	5	1	1	0	2
14	蛭名 涼	0	0	0	0	0
15	河上 宗平	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	吉田 裕司					
	合計	83	7	28	6	

○はスターター（はキャプテン） 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

男子の準々決勝第3試合は屈指の好カードとなった。高校男子の伝統校、能代工業は1回戦から危なげなく大差で勝ち上がる。かたや、16年目ぶりの優勝を狙う第2シードの洛南は#4田村、#5辻を中心としたオフェンスで対抗するが92対83で能代工業が辛くも勝利し準決勝へと駒を進める。第1P、能代工業2・3の変形ゾーンディフェンス、洛南ハーフコートマンツーマンでスタートする。能代工業#5満原を中心にインサイドプレーで得点を重ねる。洛南は全員バスケットで対抗し、24対24で終了する。第2P、場面によって変形する能代工業のディフェンスに対応が遅れる洛南は、オフェンスリズムがとれず徐々に能代工業のペースとなる。洛南#5辻の3P等で対抗するが2点ビハインドで前半を終わる。第3P、洛南のペースが上がらず8点差がついたところでタイムアウト（残り5分）。その後能代工業のディフェンスがさらに堅守になり差が縮まらず70対65で終わる。第4P、開始早々、洛南#10谷口のシュートで同点とするが、能代工業は冷静な試合運びで先行を許さず、特に#6高橋の3連続速攻で試合を決める。伝統的な基本に忠実なバスケットスタイルやベンチ後ろにきちんととんだバックに爽やかさを感じた。また、先代監督のゲーム後にかけた選手への一言「ありがとう」に伝統の復活を予感させた試合であった。

記載者

杵島 恒

（所属）佐賀県バスケットボール協会